

平成 24 年度 事業経過報告

“まとめ”

理事長 渡部 タミ

平成 24 年 9 月に長年の懸案事項であった「母子家庭の母の就労に関する特別措置法」が「母子家庭の母及び父子家庭の父の就労に関する特別措置法」として成立し、25 年 3 月から施行されました。母子家庭の母の就業、母子団体等への受注の機会が増えることを願っております。

また自主事業の新千歳空港カフェテラス Boren は、関係機関の皆様のご支援と役職員一同の懸命な努力により少しずつ上昇してきております。なお一層のご協力ご支援をお願いいたします。

道財政の悪化もあり道費補助金は同額でしたが、清掃事業委託費は関係各位のご尽力で微減で済みました。これからも母子家庭等の就労につながるよう努力いたします。

役職員一丸となり、母子福祉センターの適切な運営・管理と職場の確保に努力いたしておりますが改築 17 年を経過し、年々補修費がかさむようになり、平成 24 年度はボイラーの交換をいたしました。

頒布事業の一環として地区母連と連携しゼンミ(株)のホームロール 2,300 ケースの目標に 2,861 ケースと大幅に上回ることができました。

旭川市で母子家庭の子どもを対象に土曜学習塾を開講したところ好評でしたので、来年度はもう少し他地域でも開塾できればと思っています。

1. 自主事業

(1) 北海道母子福祉センターの運営と管理

・道費補助金も今年度は前年度と同額でしたが、経済不況の影響の中で母子センターの売上は宿泊が昨年度より少しですが増え少し明るい見通しとなりました。

総改築から 17 年を経過する母子福祉センターの補修箇所は年々増加傾向にあり、この費用の捻出も課題です。

平成 24 年度の施設利用実績は、宿泊 2,271 人・貸室 192 件 4,730 人・食堂 8,628 食で、前年度より宿泊の利用客は増加しましたが食堂、貸室は減少しました。家庭的なサービスをもっと来年度も一層の PR に努めたいと思います。

平成 17 年度より有償化された敷地賃借料の支払いもあり、施設運営は厳しいものがあります。
職員 8 人(事務職 2 人・管理人 2 人・用務員 1 人・調理員 3 人)が従事。

(2) 北海道母子福祉振興基金事業

・今年度も(株)北洋銀行さんから 45 人分、(財)北海道新聞社会福祉振興基金さん
から 178 人分の助成に道母連の果実収入を加え、母子家庭等の高校生 227 人に
1 人年額 6 万円の奨学金を給付。

(S51. 4 1. 1~H25. 3. 31 通算 36 年 延 7, 737 人)

道内経済は一向に回復せず、母子家庭の母の雇用形態は非正規雇用が多く不安定で、
子の奨学金の給付は母子ともに大変喜ばれています。

(3) 特別生活資金貸付 貸付原資額 15, 000 万円

貸付期間 11 月 1 日から翌 3 月末日

貸付実績 52 単位会 1, 495 件 7, 475 万円貸付

・昭和 54 年度から始まった冬季期間の灯油代貸付原資額は 19, 500 万円でしたが、平成 19
年に原資額 4, 500 万円を減額され 15, 000 万円になる。

昨年度は灯油代が高騰し、貸付は感謝されており、貸付額も増えました。

(4) カフェテラス B o r e n 新千歳空港 2F センタープラザに平成 4 年 7 月 1 日オープン

職員 5 人、 年間営業日数 365 日

平成 24 年度の売上総額は、50, 470, 127 円

各関係機関とも連携を深め、周囲の状況を把握し工夫を加えることにより、売上増を図るよう
努力してまいります。

2. 委託事業

(1) 道庁本庁舎及び公共施設清掃事業委託 (5 施設、15 ヶ所)

・昭和 43 年 4 月 1 日より道本庁舎、道庁別館、道立札幌医科大学校舎、
道立心身障害者総合相談所及び中央児童相談所、道立子ども総合医療療育センター、
庁舎内公共施設、道委託など 7 ヶ所、諸委託 8 ヶ所 計 15 ヶ所の一般清掃を受託。

稼働人員 40 人 (内事務職 1 人)・清掃面積 79, 546. 77 m² 稼働日数 244 日

道財政の悪化もあり、道委託費は毎年減少しているが職場を開拓し、それぞれの職場

に若い母子家庭の母が就労できるように今後も一層の職場拡充に努力したい。

(2) 道立病院院内保育所 保育業務委託 (4ヶ所)

保育所 4ヶ所 (江差町、北見市、網走市、紋別市、)

児童在籍数 40人 保育士・臨時保育士・事務職の 11人が勤務

昭和 53 年度より受託

(3) 母子家庭等自立就業・支援センター事業委託

平成 23 年 10 月 1 日より道央圏域の母子家庭等就業・自立支援センター事業を道と室蘭市受託。

胆振・日高・石狩・後志と広範囲な地域を巡回特別相談等で訪問し就労に結びつくよう努力している。

就業相談員・促進員 2人

3. 4 部の報告

事業部 部長 竹内瑞恵

24 年度は自主事業としての頒布事業はホームロールの 24 年度の目標 2,300 ケースでしたが 2,861 ケースと大幅に上回り各単位会皆様のご協力に感謝します。来年度も母子福祉センター・カフェテラス Boren の PR をお願いします。

研修部 部長 斉藤睦

24 年度の研修会は、全国統一テーマ

「つなげよう人の輪、広げよう地域の輪」としての取り組みとなりました。

一昨年実施した母子会のアンケートの結果を大事に研修会を各ブロックで開催したことと
思います。

少しでもこの組織に魅力を感じ若年母子家庭が入会するような研修会を来年度も考えたいと思います。

広報部 部長 安達史子

道母連と地域会員を結ぶ役割を果たす「道母連だより」を今年度も 77 号、78 号の 2 回 (24 年 9 月、25 年 1 月) 発行することができました。

原稿の締め切りが迫って厳しい中でも寄稿していただきありがとうございました。